



市長とトーク

市民の皆さんと市長が対話する取り組みを紹介します。

【詳細】市民の声を聞く課 ☎211-2042

「市長と語ろう！
サッポロスマイルトーク」を
11月23日に開催しました

市政に関するテーマについて、市民の皆さんと市長が対話。率直な意見交換を通して、市政に生かすとともに、市政への理解や関心を深めていただく取り組みです。

第2回 災害に強い地域づくりを考える

話し合われた内容の一部を紹介

◀市民の皆さんから

- 町内会で防災のイベントを計画しているが、高齢者の参加が多い。若い方にも積極的に参加してほしいと思っている。
- 学校などで子どもの頃から災害への備えを学び続けることが、防災につながると思う。
- 社会とのつながりが少ない障がいのある方や高齢の方などを、災害が起きたときに支援できる仕組みづくりが重要。
- 防災はやらなければならないことが多いので、毎年テーマや対象者を決めて防災訓練を行うと良い。

佐藤 伸博氏 (防災士、北海道防災教育アドバイザー)

- 備蓄は災害時の心のゆとりにもつながる。また、東日本大震災で被災した経験から、災害時は携帯電話の



- バッテリーの消耗が早いと感じたので、いろいろな手段で充電できるようにしておくが良い。
- 災害直後は、自分の身は自分で守るしかない。大切なのは、みんなが生きていることであり、みんなな



専門家の2人と市長、参加された市民の皆さんが「日頃からの災害への備え」などをテーマに語り合いました

すみともしずえ氏 (気象予報士、北海道防災教育アドバイザー)

- 地域にどんな人が住んでいるのかをお互いに知ること、協力し合う意識ができて、いざというときに支え合える地域づくりにつながると思う。



- 地震は急に起きるが、大雨による水害は事前に予測できることもあるため、日頃から天気予報などを見て備えることも大切。



あきもと 秋元市長

- 災害から72時間は人命救助を最優先することになる。物資が届くのが遅れてしまう可能性もあるため、皆さんには3日程度の備蓄をしていただきたい。
- 災害時にどのような行動を取るの



広告